九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[01] 和の文化表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/26570

出版情報：和の文化. 1, 2012-03-31. NPO法人和の文化研究会
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

論集（電子刊行物）「和の文化」Journal of Japanese Traditional Culture
〔ISSN 2186-778X〕投稿規定 2011.2.20

1. 本誌は、和の文化研究会の発表機関誌であるとともに、同研究会の活動報告誌を兼ねるものです。
2. 会員の投稿を歓迎します。
3. 本誌は DVD-ROM で刊行します。(全体の製本、抜刷製作が各自で行えるように、表紙・背文字・抜刷表紙などのフォーマットを添付します。)
4. 本誌の性格上、論文の他、報告・資料・記録・創作作品・写真作品なども掲載します。
5. 原則として一年毎に刊行します。刊行日は原則として 3 月末日とします。
6. 投稿内容は、和の文化に関するもので、未発表のものに限ります。
7. 論文投稿原稿は、12000 字～20000 字程度を原則とします。１ページの書式は本文が 10.5 ポイントで 40 字×30 行を原則とします。
   （極端に超過する場合はご相談下さい。図表や写真も規定の枚数に数えます。）
8. 投稿は CD-ROM などの電子情報をご提出ください。電子情報は、Microsoft Word 文書と PDF 文書の双方を記録してください。やむを得ず Microsoft Word 以外のワープロソフトをお使いの場合は、ソフト名を明記してください。
9. 編集と掲載の採否は編集委員会の審査を経て行います。論文の査読は和の文化研究会内外の複数の適任者に要請します。なお信頼できる学会・研究会における口頭発表を経た場合、それを複数の審査に代替することもあります。また、論文の改訂をお願いする場合もあります。
10. 縦書き、横書きいずれでも結構ですが、横文字が含まれる場合には可能な限り横書きにしてください。
11. ふりがなは対象語の後に（ ）で付けてください。編集に支障がでるため、ワープロソフトのルビ機能や、また、すべて脚注機能は用いないでください。
12. 自作の外字を用いないでください。シフト JIS、Unicode に無い漢字は画像貼り付けによって表示してください。
13. 引用、参考文献一覧については、原則として本文の最後に下記の要領で表記してください。

    著書（単行本）：著者名・『書名』・発行所・発行年（西暦）
    訳書：原著者名・訳者名・『書名』・発行所・発行年（西暦）
    雑誌：著者名・「表題」・『雑誌名』・巻号数・発行年（西暦）
    欧文も上記に倣いますが、括弧を用いずに、カンマで繋ぎ、括弧内に相当する部分のみをイタリック体で表記してください。

   なお、文中の引用、参考文献についてもこれに倣い、最後に引用、参考頁を記してください。文中の場合、初出には一覧と同様の情報を掲載し、二度目以降は書名と頁、

もしくは論文名、書名と頁、とする場合と、文中には（数字）で注記し、後注で初出には一覧と同様の情報を掲載し、二度目以降は書名と頁、もしくは論文名、書名と頁を記す場合とがありますが、いずれでも結構です。

14. 題目は英文表記を、執筆者は欧文表記を明記してください。
15. 投稿締切日は、原則として毎年 2 月末日とします。
    締切日は厳守のこと。提出原稿は完成原稿とします。校正は行われますが、大幅な直しにかかる費用などは各自ご負担いただきます。
16. 写真・動画や図、絵、音楽、音声は可能な限り掲載したいと思いますが、経費や技術の関係上、割愛する場合もあります。その際は執筆者にご相談いたします。
17. 執筆者の責任を自覚するために、毎号の参加費を 5000 円と定めます。
18. 投稿・問い合わせ先のアドレスは、journal@wanobunka.org です。
    郵送の場合の投稿先は：
    NPO 法人和の文化研究会事務局（担当：戸川）宛
    815-0033 福岡市南区大橋 2-2-1 マルイビル２階　株式会社環境デザイン機構内
    Tel.&Fax: 092-511-6417
19. 著作権規定は以下の通りです。→本誌に掲載された個々の著作物の著作権並びに出版権はＮＰＯ法人和の文化研究会に委譲されたものとする。ただし著作権の行使を当該著者が自らこれを行うことは妨げない。
20. 当論集は九州大学附属図書館学術情報リポジトリに、「ＮＰＯ法人和の文化研究会」の責任のもとで全内容が格納され、自由に閲覧されることとなります。